

オンドマルトノ
テルミン
アコースモニウム
バスクラリネット
チューバ
ソプラノ
電子オルガンの為の委嘱初演

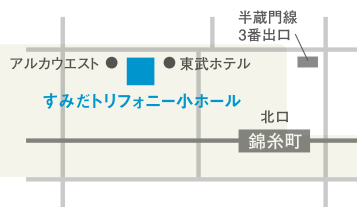
松本淳一リサイタル 2012

RESONA-BODY ELECTRO

響鳴人体【電気くん。】

松本淳一(作曲・電子オルガン)／愛甲雅美(ソプラノ)／井上幸子(バス・クラリネット)／久保智美(オンド・マルトノ)
トリ音(テルミン)／橋本晋哉(チューバ)／檜垣智也(アコースモニウム)

委嘱作曲家：伊左治直／一ノ瀬トニカ／木山光／小出稚子／壺井一步／山根明季子



すみだトリフォニー小ホール 前売：¥3,500／当日：¥4,000

2012.08.02

Open 18:30 Start 19:00

Thursday

チケットお求め先：kyoumeijintai.denkikun@gmail.com

＊お名前、枚数、連絡先(メールアドレス)を明記の上お申し込みください。個人情報は本件以外には使用いたしません。

主催：【電気くん。】 後援：日本現代音楽協会
協力：ヤマハ株式会社／ヤマハエレクトーンシティ渋谷

RESONA-BODY ELECTRO

駆け抜ける【電気くん。】
何処にも誰にも決して立ち止まらない。
だから眺めに来て。

響 鳴 人 体 【 電 気 く ん 。 】
2012.08.02
Open 18:30 Start 19:00 Thursday



松本淳一 (Junichi Matsumoto, Electone/Compose)

国立音楽大学作曲学科卒業。キーボード・パフォーマー、作曲家。1994エレクトーンコンクールジャパンファイナル／インターナショナルエレクトーンコンクールダブル一位受賞を機に音楽業界に入り、国内外ツアー、初演、出版放映等多数。マリンバ奏者安倍圭子、オンドマルトノ奏者原田節など著名クラシック奏者との共演も多い。2009～11年渡水。アイスランド芸術大学大学院作曲修士過程に在籍。レイキャビクでは、アンサンブル・カプートが自身の室内アンサンブル曲を初演、アパラット・オルガン・カルテット、ヨハン・ヨハンソンらと共演。楽曲提供も幅広く、企業PV、CM、アニメ、ダンスカンパニーなどの仕事も多く、特に「富士山アネット」「ハバ・タラフマラ」での制作では評価を得る。帰国後「秋吉台の夏2011」で作品がチューバ奏者橋本晋哉により初演され、毎年恒例J-WAVE/六本木ヒルズ共同主催フェス「TOKYO M.A.P.S」に矢野顕子オーガナイズにより出演。2011エリザベート王妃国際音楽コンクール作曲部門（ヴァイオリンコンチェルト）ファイナリスト賞受賞。第12回TIAA全日本作曲家コンクール第3位。

<http://www.junichimatsumoto.com>



愛甲雅美 (Masami Aiko, Soprano)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。テレビ朝日「題名のない音楽会」で秋山和慶指揮・東京交響楽団とソリストとして共演。秋吉台国際20世紀音楽祭、武生国際音楽祭、利賀国際演劇祭他、招待演奏。ハンガリー・国営ラジオ、BS朝日、NHK-FM(ラジオドラマ、他)、東京FM等に出演。ハンガリー、ベルギー、イタリア、韓国、カナダ等で公演。様々な音楽家、アーティストとコラボレーションを行っている。



井上幸子 (Sachiko Inoue, Bassclarinet)

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業。シベリウス音楽院及び、ロッテルダム音楽院首席修了。平成18年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。第2回ラハティ木管コンクール第2位。第1回ヘンリ・セルマー国際バスクリネットコンクール第3位。第1回ロッテルダム国際芸術音楽家コンクール優勝。札幌大学・同短期大学部非常勤講師、常葉学園短期大学専任講師。



久保智美 (Tomomi Kubo, Ondes Martenot)

オンド・マルトノの可能性を探索すべく、様々なジャンルのアーティストと共演、活動の幅を広げている。最近ではピアノ、テルミン、オンド・マルトノという異色ユニット“MATOKKU”としても活動中。これまでオンド・マルトノを原田 節、パスカル・ルッス＝ラコルデルに師事。

<http://tomomikubo.com>



トリ音 (Trine, Theremin)

テルミン奏者。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。テルミンが単なる飛び道具として終わることなく「楽器」としての普及を願う活動。音程、リズムの正確さはもちろんのこと、人間味溢れるアーティキュレーションの重要性を唱え模索中。異色ユニット“MATOKKU”としても活動中。



橋本晋哉 (Shinya Hashimoto, Tuba)

チューバ、セルバン奏者。フランス国立パリ高等音楽院第3課程卒。フェスティバル・アゴラ、レゾナンス2003、秋吉台現代音楽セミナー、サントリ音楽財団サマーフェスティバル2008及び2010、コンポーザム2009、東京オペラシティ「B→C」、NHK-FM「名曲リサイタル」など、主に現代音楽と古楽を中心として国内外で活動。洗足学園音楽大学非常勤講師。



樋垣智也 (Tomonari Higaki, Acousmonium)

愛知県立芸術大学大学院修了。03年アコースモニウムを日本へ紹介。現在まで400作品以上の空間化を手がける。'11年樋垣智也とアコースモニウムリサイタル(アコースト編)、INA/GRM(パリ)の定期演奏会でソロコンサート。FUTURA(国際アコースマティック芸術祭)とMOTUS(パリ)の専属演奏家。九州大学大学院、愛知県立芸術大学大学院、名古屋芸術大学等でアコースモニウムについての講義を行う。

委 嘱 作 曲 家



伊左治直 (Sunao Isaji, Compose)

現代音楽系の作曲、パフォーマンスや即興演奏から、ブラジル音楽や昭和歌謡曲などのライブなど、様々な活動を展開している。また、ラテン系サッカーや日本史、時代劇、民俗学の愛好家でもあり、それらの興味は常に作曲へ強く影響を与えている。作品集CDに《熱風サウダー劇場》(FOCD2565)がある。なお、頻繁に間違えられるが「伊佐治」や「伊左地」ではなく、「伊左治」が正確な表記。



山根明季子 (Akiko Yamane, Compose)

1982年大阪生まれ。「音を視る」という視点から、音で模様をデザインするというコンセプトで主にアコースティックな楽器編成で作曲をしている。京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。ブレーメン芸術大学派遣留学。日本音楽コンクール第1位、芥川作曲賞受賞など。2011年京都にて作品個展及びサウンドインスタレーションを行う。現代音楽コンサートシリーズ「eX」主宰。



小出稚子 (Noriko Koide, Compose)

1982年千葉県生まれ。2008年東京音楽大学大学院修士課程作曲研究領域首席修了。第3回第5回東京音楽大学学長賞受賞。第17回芥川作曲賞受賞。第76回日本音楽コンクール作曲部門第2位及びび谷賞(聴衆賞)。第18回出光音楽賞受賞。2011年度アリオン賞受賞。『鬼子母神不眠ガールズ』"すけべ人間"2つのプロジェクトでも活動中。アムステルダム在住。



壺井一歩 (Ippo Tsuboi, Compose)

1975年兵庫県生まれ。東京音楽大学作曲専攻研究生卒業。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門入選。「星投げびと」で2003年度武満徹作曲賞第4位。同作品で第14回芥川作曲賞ノミネート。第1回日本ギター音楽作曲コンクール優秀賞。第2回大阪国際マンドリンコンクール作曲部門1位。第20回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門1位。第2回「山響作曲賞21」受賞。2006年よりEnsemble Rocaのコンポーザー・イン・レジデンスを務める。



一ノ瀬トニカ (Tonika Ichinose, Compose)

東京芸術大学大学院作曲専攻修了。第16回日本文響楽振興財団作曲賞入選。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門入賞。作曲家/プロデューサーとして多方面で活躍中。主な作品に、アンサンブル金沢委嘱作品「美しかったすべてを花びらに埋めつくして」、サウンドプロデュースCD「カペラッテ「永遠につづく春」、アニメ音楽「CHAOS:HEAD」(ユニット'tOkYo'で制作)など。NHK特集番組などへの楽曲提供も多数。

<http://www.tonika-ichinose.net>



木山光 (Hikari Kiyama, Compose)

2006～8ガウデアムス国際コンクールに3年連続ノミネート。Young Composers Meeting 2007にて第一位。140デシベルの爆音が話題となりオランダの新聞TVラジオで報道され、演奏では耳栓が配られた。2011年ブローニュ＝ビヤンクール作曲コンクール優勝。2009メンヘングラートバハ国際作曲コンクール、第5回ユルゲンソン国際コンクール、武生作曲賞2011、第6回JFC作曲賞、各ファイナリスト。洗足現代音楽作曲コンクールB部門洗足賞。フランス＝オランダ作曲コンクール優勝。